



経済産業省 関東経済産業局 関東東北産業保安監督部

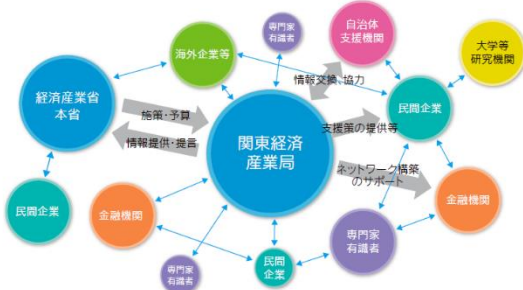
どんな組織なの？

関東経済産業局・関東東北産業保安監督部は、経済産業省の地方ブロック機関（いわゆる出先機関）です。**広域関東圏**（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県※）を行政の区域とし、経済産業政策の実施に取り組んでいます。※電力・ガス事業等の一部業務に例外あり

何をやってるの？

関東経済産業局は、関東地域で活躍している民間企業、自治体、支援機関等の皆さまに対して、成長産業の創出・育成や起業・創業の促進、中小企業の経営力強化、エネルギーの安定供給などを通して、**地域経済の活性化や健全な発展に貢献**することを目指しています。また、政策を実施するだけでなく、現場の声を大切にし、経済産業省本省と連携し、使い勝手の良い政策への改善や新たな政策提案も行います。

当局の業務イメージ



関東東北産業保安監督部は、電力、ガス、火薬類や鉱山等に関する保安の確保、鉱山における危害や鉱害の防止を目的に、各種法令に基づく安全規制や指導、円滑な自主保安の推進に有益な情報提供や功労者の表彰等を通じ、**「国民の安全の確保」と「環境の保全」**を図っています。

関東経産局・保安監督部ともに、国家公務員という立場でありながら、出張に行く機会も多く、**地域の「現場」**に根ざして仕事をすることができます。

（写真）発電所に立入検査をする様子（保安監督部）



どんな職場なの？

いい仕事をするためには、働く環境がとても大切です。関東局・監督部では、「**風通しのよさ**」を大事にし、若い世代でも自由に意見が出せる環境を作っています。また、「働き方改革」にも力を入れており、**テレワーク・フレックス制度**を活用し、育児や介護をはじめとした様々なライフステージの職員が活躍できる職場を目指しています。

勤務地はさいたま市の本局のほか、横浜市にも事務所を構えていますが、大半の職員がさいたま市で勤務しています（写真左から2つめの庁舎）。転居を伴う異動はほとんどありませんが、人事異動の過程で管内の自治体等に出向することがあります。



（写真）さいたま新都心合同庁舎

	合計	男性	女性	事務官	技官
経産局	365人	244人	121人	304人	61人
監督部	54人	49人	5人	7人	47人

（参考）職員の数（令和6年12月時点）

職員の声

「私は技術系の採用ですが、自分の専門分野のみならず、幅広い分野で仕事ができる点を魅力に感じ、志望しました。補助金の執行を通じて、地域活性化に携われており、とてもやりがいを感じています！」（令和3年度採用・技官）

「地域の最前線で地域振興や企業支援をしたいと思い志望しました。日々新しい発見の連続で、好奇心旺盛な方にはびつたりの職場かと思えます！」（令和4年度採用・事務官）

